



問 都市公園整備事業として、今後の岩田池公園整備の進め方は

都市公園事業として、岩田池公園、中勢グリーンパーク、香良洲高台防災公園といった重要な事業が展開されている。

中勢グリーンパークや香良洲高台防災公園の運動施設が完成していく中で、今後の岩田池公園の整備事業は、千歳山へのアプローチも兼ねている。

都市部にある貴重な自然を生かした岩田池公園の整備の進め方を質す。

答 園路・サブエントランス部の工事は令和7年度に完了予定

岩田池公園では、千歳山へのアクセスルートとなる園路とサブエントランス部の整備が進められている。

千歳山は、千歳山整備基本構想において、川喜多半泥子をしのぶ歴史・文化の品格ある公園整備、市街地の中の豊かな自然の保全というコンセプトのもと、市街地に広がる貴重な自然を保全するとともに、現地に残っている施設を保存・活用した整備を目指していくこととしている。

岩田池公園の園路・サブエントランス部の工事は令和7年度に完了する予定である。

その他の質疑・質問

- 教育方針より、社会教育、生涯教育について
- 教育振興ビジョンの重点施策は
- 終活支援、終活登録について
- エンディングプラン・サポート事業と墓埋法第9条対象者の現状は
- 医療費の節約について、通院負担・薬剤負担は
- 市営住宅の維持・管理と将来の在り方は など

▶ 季節の移ろいを感じる岩田池公園



問 3社で構成する組合補助金の交付は公平・公正でなく差別では

津地域のし尿くみ取り業者3社で構成する津環境整備事業協同組合に対し、毎年、補助金が交付されているが、合併以降これまでの累計額は。

また、組合員でない他のし尿くみ取り業者が12社ある中で、今後、補助金を廃止したとしても、これまで3社で構成する組合に補助金を交付し続けてきたことは、公平・公正でなく、行政による差別が行われてきたことになると考えるがどうか。

答 合併により生じた不均衡であり差別という認識はない

平成18年の合併以降これまでの補助金の累計額は、令和3年度までの決算額と令和4年度・5年度の予算額を合計すると、6億648万7,716円となる。

昭和51年当時、合併前の津市において、事業者が行う料金徴収に関する市民からの不満の声を受けて、料金を分離徴収するための組合を結成し、当該組合の運営経費を行政が補助することとした中で、合併時に他の9市町村ではそのような仕組みがなく、合併調整により当該補助制度が引き継がれたものである。

よって、市町村合併により生じた不均衡であり、行政が差別を行っているという認識はない。

その他の質疑・質問

- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第4条第6号に抵触することから、津環境整備事業協同組合を設立し補助金を交付してきたのであれば、組合員でない他の12業者において、し尿のくみ取り業務に直接従事する者が料金を徴収しているケースは、たとえそれが委託業者でなく許可業者であっても法令違反では

▶ 令和5年度的一般会計当初予算にも津環境整備事業協同組合補助金が計上